

**製品名: CD45 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08403**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	PTPRC
別名	PTPRC; CD45; Receptor-type tyrosine-protein phosphatase C; Leukocyte common antigen; L-CA; T200; CD antigen CD45
遺伝子 ID	5788.0
SwissProt ID	P08575
免疫原	抗血清はヒト CD45 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 981-1030

**背景**

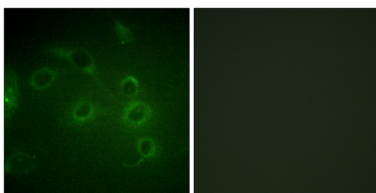
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTP は、細

胞の成長、分化、有糸分裂、および癌化など、さまざまな細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この PTP は、細胞外ドメイン、単一の膜貫通セグメント、および 2 つのタンデムな細胞質内触媒ドメインを含むため、受容体型 PTP に分類されます。この PTP は、T 細胞および B 細胞の抗原受容体シグナル伝達の重要な制御因子であることが示されています。抗原受容体複合体の構成要素と直接相互作用するか、抗原受容体シグナル伝達に必要なさまざまな Src ファミリーキナーゼを活性化することによって機能します。この PTP は JAK キナーゼも抑制するため、サイトカイン受容体シグナル伝達の制御因子としても機能します。この遺伝子の選択的スプライシング転写バリエーションは、少なくとも 8 つのアイソフォームが生成されます。触媒活性:タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。疾患:PTPRC の欠陥は、重症複合免疫不全症常染色体劣性 T 細胞陰性/B 細胞陽性/NK 細胞陽性 (T(-)B(+)NK(+)/SCID) [MIM:608971] の原因です。SCID は、体液性免疫と細胞性免疫の両方の障害、白血球減少症、および抗体レベルの低下または欠如を特徴とする、遺伝的および臨床的に異質な希少先天性疾患のグループを指します。SCID の患者は、乳児期に日和見菌による反復性かつ持続的な感染症を呈して発症します。SCID のすべてのタイプに共通する特徴は、T 細胞発達の欠陥による T 細胞介在性細胞性免疫の欠如である。疾患:PTPRC の遺伝的変異は、多発性硬化症感受性 (MS) [MIM:126200] に関連している。MS は、特に脳の脳室周囲領域における脱髄の局所プラークの漸進的な蓄積を特徴とする神経変性疾患である。末梢神経は影響を受けない。通常、20 代または 30 代で発症し、長期間にわたって断続的に進行する。原因はまだ不明である。ドメイン:最初の PTPase ドメインは SKAP1 と相互作用する。機能:抗原受容体を介した T 細胞の活性化に必要。最初の PTPase ドメインには酵素活性があり、2 番目のドメインは最初のドメインの基質特異性に影響を及ぼすと思われる。T 細胞が活性化されると、SKAP1 および FYN を脱リン酸化します。オンライン情報: CD45 エントリー、オンライン情報: PTPRC 変異データベース、PTM: N 型および O 型糖鎖が高度に付加されています。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属します。受容体クラス 1/6 サブファミリー。類似性: 2 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。類似性: 2 つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含みます。サブユニット: GANAB および PRKCSH に結合します (類似性による)。SKAP1 と相互作用します。、

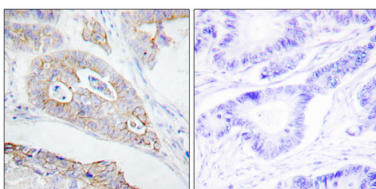
## 研究分野

細胞接着分子 (CAM)、T 細胞受容体、Fc ガンマ R を介した貪食、原発性免疫不全症

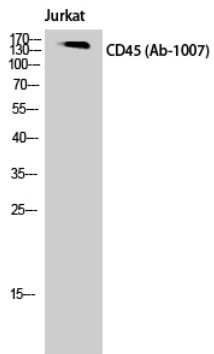
## 画像データ



CD45 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CD45 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



CD45 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析